

一般社団法人 日本動物実験代替法学会

2022 年度事業計画

(第 1 期：2022 年 1 月～8 月)

理事長 板垣 宏

総務担当理事 豊田 明美

I. 役員の構成

1. 法人 役員構成

理事長 (代表理事)	板垣 宏
副理事長	藤堂 浩明
理事_総務	豊田 明美
理事_企画	山下 邦彦
理事_編集	石田 誠一
理事_広報・3Rs 啓発	秋田 正治
理事_国際交流・広報 (国際関係)	小島 肇
理事_会計・財務	笠原 利彦
理事_学術	諫田 泰成
理事_SDGs 推進 WG	古川 克子
監事	宮崎 博之
監事	渡辺 美香

2. 大会長

第 35 回大会長 (2022 年)	吉成 浩一
第 36 回大会長 (2023 年)	伊藤 晃成

3. 委員会・ワーキンググループ (WG) 委員長

総務委員会	安保 孝幸
企画委員会	池田 英史
編集委員会	古水 雄志
広報委員会	石井 宏
国際交流委員会	畑尾 正人
財務委員会	梅下 和彦
学術委員会	福田 淳二
3Rs 啓発委員会	小島 伸彦
SDGs 推進 WG	古川 克子
WEB 企画検討 WG	小森 喜久夫

II. 活動方針

1. 学術的支援活動

1) 講演会等

動物実験代替法の普及促進のため、代替法に関する最新のトピックスに沿ったシンポジウム形式の講演会、試験法に関する講演会を実施する。2022年1月～8月において、1回以上の開催を目標とする。

また、Reduction、Refinement 及び Replacement の 3Rs の更なる推進と普及を目指し、他学会等と連携したシンポジウムやプロジェクトを企画する。

2) 技術講習会

OECD テストガイドラインに記載された試験の技術習得促進を目的として実施する。コロナウィルス感染拡大による社会情勢を見極めて、次年度（2022年9月～2023年8月）の開催に向けて準備を進める。

3) その他

MPS (Micro-physiological system)の推進に関する学術的支援を行う。

2. 国際交流活動

1) Asian Federation

アジアにおける動物実験代替法の普及促進のため、KSAAE, TATT, SAAE-I などと連携しながら、2022年12月に韓国における Asian Federation の調印を目標に、web 等で合意に向けて調整する。AATEX を Asian Federation の機関誌とすることを目的に、発行について関係する組織と調整する。

2) 3Rs を念頭に、欧米との交流を継続

ESTIV、EUSAT、ASCCT など海外の団体との連携を深め、2022年11月21-25日に開催される ESTIV2020 大会において合同セッションに向けた準備を行う。また、WC12 Board に参画して、JSAAE 賞を提案する。

3) 会員への国際情報発信を強化

国際情報を積極的に収集する。広報委員会とともに、HP で国内情報を海外に発信するとともに、メールニュースで国際情報を会員に発信する。

4) WC12 や Asian Congress への渡航賞の選考

公募を行い、受賞者を選考する。

5) 大会シンポジウムを企画・準備

大会における国際シンポジウムや企画委員会合同セッションのタイトルを決め、演者を選ぶ。

3. 3Rs 啓発活動

1) 出前講義

年間5件の高校・大学等での出前講義を目標とする。

2) チャレンジコンテスト

・2023年のチャレンジコンテスト再開に向けて、大会案内等を作成して配布する。

- ・学会ホームページにチャレンジコンテストのページを設置する。
- ・2022年にプレ大会開催を目指し、運営の仕方や企業賞などについて検討する。

3) 新規啓発活動立案

出前講義やチャレンジコンテストとは異なる啓発活動を企画する。

4. 出版活動

1) 学会誌の発行

- ・学会誌「Alternative to animal testing and experimentation (AATEX)」を発行する。
2022年1～2022年12月の期間中に第27巻1号、2号、第35回大会 Supplement、AATEX-JACVAM Vol.11 No.1の発行を予定している。うち、2022年1月～8月の期間中に第27号1号、AATEX-JACVAM Vol.11 No.1の発行を予定している。
- ・2021年度に申請したPMC掲載に関する手続きを継続して進める。
- ・PMC掲載後の対応として、AATEX印刷の外注化とAATEX活性化について検討する。

2) ニュースレターの発行

第一期（2022年1月～8月）に第71号（4-5月）、第72号（7-8月）の発行を予定している。

5. 広報活動

適時、メールニュースの発信および学会ホームページの更新を通じて、会員および外部に向けての情報発信を行う。さらに、学会ホームページの更なる利便性の向上を目指し、改定の準備を行う。

6. 財務活動

1) 法人化対応

- ・会計監査の効率化（立会い形式、クラウドを活用した会計資料の関係者間の共有化）を検討する。
- ・大会会計と一般会計の統一準備（公認会計士による会計監査体制の構築）を行う。

2) 会員および賛助会員の増加

- ・関係企業及び団体への勧誘活動を行う。
- ・関連学会大会等において学会紹介の印刷物や大会ポスターを配布する。

3) 未納者数の削減

- ・クレジットカード払い時の領収書自動発行を可能にする。
- ・長期未納者への声かけを行う。

7. 助成金活動および賞等選考活動

1) 第15回マンダム動物実験代替法国際助成金

株式会社マンダムからの支援を受け、動物実験代替法開発支援のための研究助成活動を行う。

公募期間：2021年8月23日～2022年2月14日

審査期間：2022年2月15日～3月31日

助成期間：2022年4月1日～2023年3月31日

さらに、第16回助成金活動の実施に向けて、株式会社マンダムと協議を継続する。

2) 第9回化粧品等の安全性確保を目的とした試験法評価に関する研究助成金

日本化粧品工業連合会からの支援を受け、動物実験代替法の行政利用、社会的な受け入れ促進のための、試験法評価のための研究助成活動を行う。

さらに、助成活動実施に向けて、日本化粧品工業連合会と協議を継続する。

3) 各賞選考

2022年本学会の学会賞、功労賞、第7回LRI賞、AATEX優秀論文賞、優秀発表賞など、各賞の選考を行う。

8. その他

1) 会長直轄のワーキンググループ設置

本学会の持続的発展を目的に、SDGs推進WGを設置する。最新のWEB技術を学会運営や大会運営に積極的に活用すべくWEB企画検討WGを設置する。

以上